

作成日: 2013年08月05日

改訂日: 2016年06月01日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名: **ヘルスケアランドリー4 アバ**
 会社名: シーバイエス株式会社
 住所: 神奈川県横浜市中区山下町22番地 山下町SSKビル/T231-0023
 担当部門: カスタマーテクニカルセンター
 電話番号: 045-640-2280
 FAX番号: 045-640-2216
 推奨用途及び: 業務用ランドリー用中性洗剤
 使用上の制限: 自動注入OPLシステム専用ランドリー用中性洗剤
 整理番号: T44420

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物 : 分類できない
 可燃性/引火性ガス : 分類対象外
 エアゾール : 分類対象外
 支燃性/酸化性ガス : 分類対象外
 高圧ガス : 分類対象外
 引火性液体 : 分類できない
 可燃性固体 : 分類対象外
 自己反応性化学品 : 分類できない
 自然発火性液体 : 分類できない
 自然発火性固体 : 分類対象外
 自己発熱性化学品 : 分類できない
 水反応可燃性化学品 : 分類できない
 酸化性液体 : 分類できない
 酸化性固体 : 分類対象外

健康有害性

有機過酸化物質 : 分類できない
 金属腐食性物質 : 分類できない
 急性毒性(経口) : 区分外
 急性毒性(経皮) : 分類できない
 急性毒性(吸入:ガス) : 分類対象外
 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない
 急性毒性(吸入:粉じん・ミスト) : 分類できない
 皮膚腐食性・刺激性 : 分類できない
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 分類できない
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 分類できない
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発がん性 : 分類できない
 生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
 水生環境有害性(急性) : 分類できない
 水生環境有害性(長期間) : 分類できない
 オゾン層への有害性 : 分類できない

環境有害性

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報 該当情報なし

注意書き 該当情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

人の健康に対する有害な影響

- ・ 吸い込んだ場合の刺激は弱い。
- ・ 皮膚に対して弱い刺激性がある。
- ・ 目に対して弱い刺激性がある。
- ・ 飲み込んだ場合の有害性は低い。

環境への影響

- ・ 大量に流出した場合は、水生生物に対して影響を及ぼす。

物理的及び化学的危険性

- ・ 不燃性であり、引火・発火性などの危険性はない。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

成分	C A S 番号	官報公示整理番号 化審法番号	濃度又は濃度範囲 (%)
界面活性剤 ポリオキシエチレンアルキルエーテル(C12-15)	非公開	非公開	17
脂肪酸アルカノールアミド	非公開	非公開	非公開
水	7732-18-5	—	非公開

- ・ 内分泌かく乱作用を有すると疑われる化学物質：環境省「環境ホルモン戦略計画SPEED' 98」（2000年11月版）で示された物質（65種類）を使用しない。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 蒸気、ミストなどを吸い込んで気分が悪くなったときは、直ちに使用を止めてその場から離れ、新鮮な空気の風通しのよい場所で安静にする。その後、直ちに医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 流水でよく洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、すみやかに脱ぎ皮膚を流水でよく洗い流す。何らかの異状を感じたときは直ちに医師の処置を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。何らかの異状を感じたときは直ちに医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のないときは口から何も与えない。ただし、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。
- その他 : 使用中、目に異状を感じたり、せき込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用をやめてその場から離れ、洗眼、うがいをする。その後、直ちに医師の処置を受ける。

いずれの場合も、医師への受診時には製品または安全データシートを持参する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合は速やかに安全な場所に移す。
移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

： 保護具（保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスク等）を着用する。

漏出場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項： 雨水溝、河川、海上などに多量に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

： スクイジーなどを用いてできる限り空容器などに回収する。

回収した跡、または回収できないものは、多量の水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 洗浄作業や洗浄剤容器の取扱い時は必ず、保護具（保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴等）を着用する。

： キャップを開けるとときに液が飛び出すことがあるので注意する。また、容器を移動するときにはキャップをしっかりと閉める。緩んでいると液が跳ねて目や皮膚に付くことがある。

： 指定された以外の方法で他の薬剤、洗浄剤などとは絶対に混ぜない。

： 用途以外に使用しない。

： 誤飲等事故の恐れがあるので、飲料用の容器を含む他の容器に移し替えたり小分けしない。

： 倒したり、こぼしたりしないように注意する。

： 使い終わった容器は、十分に洗ってから処理する。

： 未開封において、2年程度を目安に使用する。開封後は、早めに使い切る。

保管： 直射日光、40℃以上、多湿および凍結のおそれのある場所を避けて密閉して保管する。

： 子供の手の届かないところに保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度： 設定されていない。

許容濃度： 設定されていない。

設備対策： ミストや蒸気が滞留しないように局所換気装置または全体換気装置を設置する。

取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸器用の保護具： 保護マスク

手の保護： ゴム手袋

目の保護： 保護メガネ

皮膚及び身体の保護具： ゴム長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観（形状、色）： 無色透明液体

臭い： 特異臭

pH： 7.0（原液、25℃）

比重： データなし

粘度： 400 mPa・s（20℃）

溶解度： 水溶性

融点・凝固点： 0℃以下

沸点： データなし

引火点： なし（不燃性）

燃焼又は爆発範囲： データなし

蒸気圧： データなし

蒸気密度： データなし

水分配係数： データなし

自然発火温度： データなし

分解温度： データなし

蒸発温度： データなし

ヒ素[As]： 0.05 mg/L 以下（厚生労働省告示第370号食品、添加物等の規格基準）

重金属[Pbとして]： 1.0 mg/L 以下（厚生労働省告示第370号食品、添加物等の規格基準）

メタノール	: 1 mg/g 以下	(JIS K 3362)
全りん酸塩	: 検出せず	(JIS K 3362)
蛍光増白剤	: 検出せず	(JIS K 3362)

(注) 数値はいずれも代表値で表示

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常取り扱い条件においては危険な反応を起こす恐れはない。
化学的安定性	: 通常取り扱い条件（屋内、常温）においては安定である。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 使用原料の加算式判定の結果より、区分外とした。 LD50 > 2000 mg/kg
急性毒性（経皮）	: データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：ガス）	: 分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	: データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	: データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性	: データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない。
その他の情報	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性（急性）	: データ不足のため分類できない。
水生環境有害性（長期間）	: データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	: 生分解度 98.8% (JIS K 3370)
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
その他の情報	: BOD 270,000 mg/kg (JIS K 0102) COD 180,000 mg/kg (JIS K 0102)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。 少量の場合は、水で十分に希釈して排出する。 多量の場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。
汚染容器、包装	: 使い終わった容器は、水で十分に洗ってから処理する。

内容物／容器の廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、ご使用の際には用途・用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

以上